

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月24日更新

事務事業名		災害関連事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	後藤 章博
	施策	6	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	小林 弘和
	施策の柱	23	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班	(内線)	1155
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 11589	根拠法令	合志市災害見舞金支給条例 合志市災害見舞金支給条例施行規則		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市に住所を有する者で天災地変又は火災の原因により被害を受けたもの(死亡や住家等の全焼等)に対し、市が見舞金を支給する事業。
【業務の流れ】	申請により関係機関(警察、消防、行政など)からの証明に基づき被害状況を確認し、審査後、見舞金を支給する。
【主な予算費目】	交際費
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	支給要件に該当する被災市民に対して見舞金を支給した	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 火災等の被災市民に対して見舞金を支給する
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア:災害、火災等の回数 →イ:	予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	火災等に被災した市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件 →ア:被災件数 →イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	被災した市民に見舞金を支給する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 →ア:支給した件数 →イ:
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 被災した市民を追悼哀惜を表し、見舞金を支給するため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
①活動指標	ア	回			3	2	3	3	3	3
	イ									
②対象指標	ア	件			3	2	3	3	3	3
	イ									
③成果指標	ア	件			0	2	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			200	150	200	200	200	200
人件費	(A)事業費計	千円			200	150	200	200	200	200
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人			0	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間			0	60	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円			0	237	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円			200	387	200	200	200	200

事務事業名	災害関連事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 被災した市民にスムーズに見舞金を支給できた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 被災した市民にスムーズに見舞金を支給することができれば達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 見舞金を支給する事務なので向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 見舞金であり削減するものではない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人件費である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 被災者に対しての見舞金であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 被災した市民への見舞金の支給であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

被災した市民へのスムーズな見舞金の支給ができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					